

ミャンマーの これまでと今

2025.7.24 月 **19:00~21:00**
参加費：2,000円

※zoom (アドレスは申込後に送付します) (学生：無料)
※アーカイブ配信予定 (申込者のみ2週間程度)

今年3月28日、ミャンマーでミャンマー中部を震源とするマグニチュード7.7の大地震が発生しました。地震の一報後、大きな地震にも関わらず、報道が少ないと感じ、わたしたちは、4月14日「ミャンマーからのレポート～空爆下の被災者たち～」を緊急開催しました。

ミャンマーでは軍事クーデターに端を発する内戦が4年にわたって続いており、国軍と国内各地の武装勢力の衝突が繰り返されています。それらのことが影響し、日本からの支援が行き届かない可能性があるようです。私たちに何ができるのか、まずは、ミャンマーのことを知ることから始めたいと思います。

お話しは、国際ジャーナリストの舟越美夏さんです。画面オフ、匿名での参加もOKです。多くのご参加をお待ちしています。

舟越美夏さん (国際ジャーナリスト)

1989年共同通信社入社。秋田、福岡、北九州の各支社局を経て、本社金融証券部、経済部。
2000年代にプノンペン、ハノイ、マニラ各支局長。
2019年7月退社。
著書「人はなぜ人を殺したのか ポル・ポト派語る」(毎日新聞社、平和協働・ジャーナリスト基金奨励賞)、「愛を知ったのは処刑に駆り立てられる日々の後だった」、「その虐殺は皆で見なかったことにした」(ともに河出書房新社)



講師

